

正倉院文書を考える

みやざきけんじ
宮崎健司「著」（大谷大学文学部教授）

A5判・並製カバー・二二八頁・本体四、五〇〇円＋税

2024年11月刊行



仏教史研究における正倉院文書の有用性とおもしろさ！
写経組織や事業の解明、当時の仏教理解、官人と僧侶との人間関係など、仏教史に関する問題を具体的に掘り下げる、意欲的論文集。

【目次】
刊行によせて

〔栄原永遠男〕

良弁宣による三疏書写——天平勝宝元年の「刊定記」書写を中心に——

〔遠藤慶太〕

紫紙金字『金光明最勝王経』の製作にかかる一史料

〔野尻 忠〕

正倉院文書にみえる灌仏会・盂蘭盆会関係経典

〔内田敦士〕

天平二〇年の救護身命経一〇〇巻写経事業と国家仏教

〔ブライアン・ロウ〕

大宝積経勘出注文の再検討——五月一日経の勘経をめぐって——

〔宮崎健司〕

孝謙太上天皇の受戒と『梵網経』十八種物

〔堀 裕〕

大僧都行信と厭魅事件

〔大艸 啓〕

石山寺写経機構の性格について——勅旨省の成立・仕丁養物請求——

〔山下有美〕

あとがき

執筆者一覧

【編者略歴】1959年、兵庫県出身。大谷大学大学院文学研究科博士後期課程修了、博士（文学）。現在、大谷大学文学部教授、大谷大学博物館長。専門は日本古代宗教学。著書・論文に、『日本古代の写経と社会』（塙書房、2006年）、「「仏法東帰」考——大仏開眼会への道程——」（『大谷大学研究年報』74、2022年）などがある。

ご注文は FAX:075-371-0458

法藏館

〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入
TEL 075-343-0458 FAX 075-371-0458
http://www.hozokan.co.jp info@hozokan.co.jp

日本史・仏教史

注文書	
(書店名)	
様	ご担当
冊	
法藏館	宮崎健司編
四、五〇〇円＋税	
正倉院文書を考える	
ISBN978-4-8318-7784-0 C3021	
ご住所	お名前
	お電話